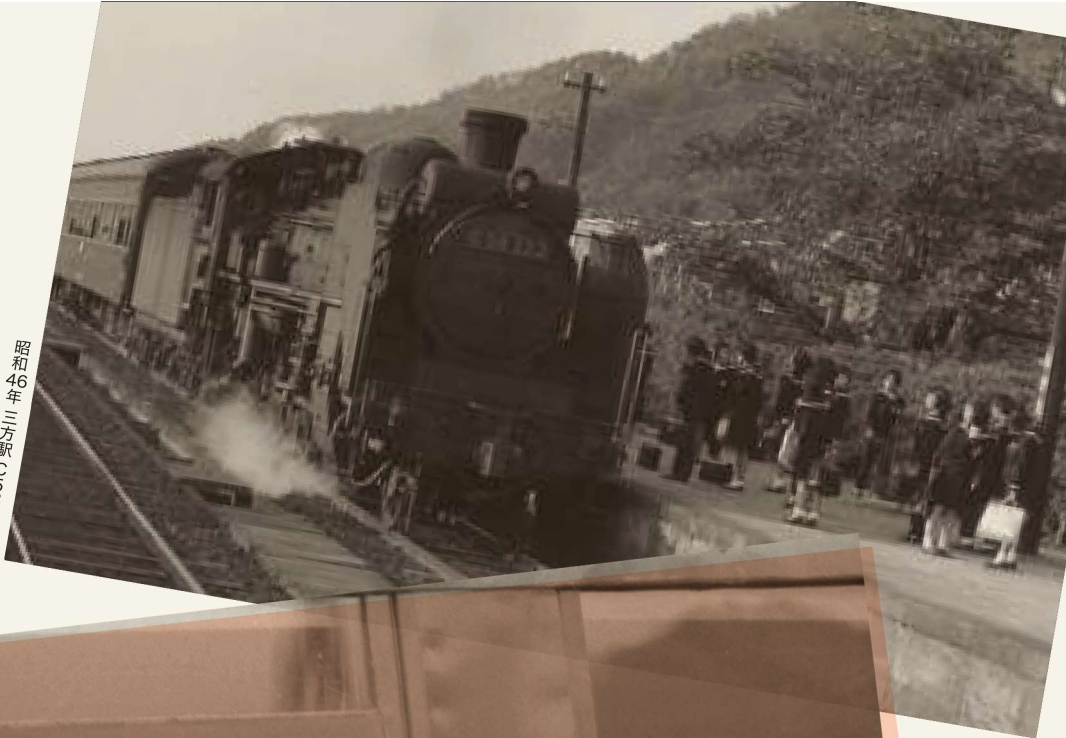


昭和46年三万駅 C1500-2210



# 福井県立若狭歴史博物館 2階企画展示室

開館時間 9時から17時まで(入館受付は16時30分まで)

休館日 第2・第4月曜日

「観覧料」一般 310円(250円)、高校生以下・満70歳以上の方 無料

※(一)内は有料者20名以上の団体料金※障がい者手帳等をお持ちの方とその介護者1名は無料

※常設展示もご覧になれます



テーマ展

ちよつとむかしのくらし展

北陸新幹線福井・敦賀開業記念

福知山 FOR FUKUCHIYAMA

好評につき  
期間延長  
2024.5.6

# 国鉄小浜線のころ

2024 3.16(土) 2024 5.6(月祝)

1965-1975

昭和46年栗野駅オハ61



昭和46年黒河川橋梁 S1515よなす列車

青々吉日  
TSURUGA WAKASA

地味にすごい 福井



Fukui SDGs

写真は全て 中島鉄道コレクション (福井県立歴史博物館蔵)



## 鉄道

は人・物の大量かつ高速移動を可能にした

変運更賃

交通手段です。明治政府は、近代化・富国強兵を推進する上で鉄道を非常に重視しました。主要幹線の敷設が一通り完了すると、地域生活の重要インフラとして

**地方線**が整備されました。若狭地域には、交通の要

衝敦賀と、軍港舞鶴を起点・終点とし、旧城下町小浜と若狭の平野部の各地域を結ぶ小浜線が敷設されました。鉄道が開通すると、各地域では鉄道駅を中心に交通が再構成され、街と村の生活に影響を与えました。

今回の小展示では、若狭地域を横断する小浜線を取り上げ、特に人々の生活の変化に伴い鉄道の存在意義が変化し始めた**昭和40〜50年代頃**の写真を中心に見てゆきます。

また、小浜線開通以来の古い駅舎を残す**十村駅**を切り口に、街の顔であった**駅**にもスポットを当て、その役割を探りたいと思います。

ちよっとむかしの**鉄道のある風景**をお楽しみいただきます。

46.-8.-26.

福井県立若狭歴史博物館



昭和46年 大鳥羽駅 C58-223 中島鉄道コレクション (福井県立歴史博物館蔵)

福井県立  
**若狭歴史博物館**  
Wakasa History Museum  
〒917-0241 福井県小浜市遠敷2丁目104番地  
TEL (0770) 56-0525 / FAX (0770) 56-4510  
<https://wakahaku.pref.fukui.lg.jp/>  
<https://www.facebook.com/fukui.wakahaku>

▼当館ホームページ



交通のご案内

- JR小浜線/東小浜駅下車、徒歩約5分
- 車/舞鶴若狭自動車道小浜ICから約5分(駐車場無料)

